

# 日本混成・U20 全国混成 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2020 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項および日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開についてのガイダンス「【第2版】競技会再開について（2020年8月11日）」に基づいて実施する。また、WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール再改訂を適用する。

## 2. 練習場及び練習について

- (1) 大会当日のトラック競技・フィールド競技の練習は本競技場で行うが周囲に十分注意して行うこと。なお、雷管を使用したスタート練習は禁止する。
- (2) 本競技場でのフィールド種目の練習は、競技開始30分前から（棒高跳は60分前から）行うことができる。ただし、競技役員の指示に従うこと。
- (3) 大会前日の本競技場での練習は、大会要項に記載のとおりとする。
- (4) 大会前日及び大会当日の、補助競技場および投擲練習場は使用できるが、指導者の監督の下、競技役員の指示に従い安全に配慮して実施すること。

## 3. 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6およびWA規則再改定を参照）

スパイクピンの数は11本以内とし、長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。靴底の厚さは、800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mmまでとする。なお、フィールド種目の厚さは、再改定前の規則が適用される。

## 4. 競技者の招集方法について

- (1) 招集は、両日の第1種目のみ下記に示す時間のとおり行う。以後の種目についても、下記の集合時間までに集合すること。場所は招集、集合ともに混成控室前とする。なお、同時にアスリートビブス、スパイク（シューズ）、バッグの中身、衣類の商標の確認と点検を受けること。

| 種目      | 招集及び集合開始時刻    | 招集及び集合完了時刻 |
|---------|---------------|------------|
| トラック競技  | 競技開始予定時刻の30分前 | 同20分前      |
| フィールド競技 | 競技開始予定時刻の40分前 | 同30分前      |

競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。（競技規則第144条3(b)）

- (2) 次種目から欠場する場合は、混成競技審判長に申し出ること。その後、欠場届を本競技場玄関ホールに設ける「TIC」に提出すること。
- (3) 招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場するものとして処理する。（その後、欠場届を提出のこと）  
この場合は、次の種目からの出場はできないものとする。

## 5. アスリートビブスについて（競技規則第143条7・8・9・10を厳守）

- (1) アスリートビブスは、3枚（胸・背・手荷物用）配付する。
- (2) すべての競技者は、ユニフォームの胸・背に折らずにつけること。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかにつけるだけでよい。
- (3) トラック種目では、配付した腰ナンバー標識を右腰に確実につけること。

## 6. 競技について

- (1) トラック競技のレーン順は、プログラム記載順による。
- (2) トラック種目においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は失格となる。
- (3) ハードルの高さや投てき種目の重さについては以下のとおりである。

### 【日本選手権】

|           |    |       |         |     |         |
|-----------|----|-------|---------|-----|---------|
| ハードル種目の高さ | 男子 | 110mH | 1.067m  |     |         |
|           | 女子 | 100mH | 0.838m  |     |         |
| 投てき種目の重さ  | 男子 | 砲丸投   | 7.260kg | 円盤投 | 2.000kg |
|           | 女子 | 砲丸投   | 4.000kg | やり投 | 800g    |

### 【U20 全国陸上】

|           |    |       |         |     |         |
|-----------|----|-------|---------|-----|---------|
| ハードル種目の高さ | 男子 | 110mH | 0.991m  |     |         |
|           | 女子 | 100mH | 0.838m  |     |         |
| 投てき種目の重さ  | 男子 | 砲丸投   | 6.000kg | 円盤投 | 1.750kg |
|           | 女子 | 砲丸投   | 4.000kg | やり投 | 600g    |

- (4) 欠場する者は、本大会規定の欠場届（日本陸連ホームページ大会情報本大会要項）に必要事項を記入し大会前日までに大会事務局へFAX（020-4664-1771）すること。大会開催中は「TIC」に提出のこと。

## 7. 競技方法について

- (1) 砲丸投は、A、Bの2つのピットで実施する。組分けと試技順はプログラム記載の順番とする。
- (2) 走高跳および棒高跳は、A、Bの2つのピットで実施する。組分けは競技者の申請により決定し、試技順はプログラム記載の順番を原則とする。競技者は、走高跳は1日目、棒高跳は2日目の最初の招集時に、希望する最初の高さを申請すること。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

### 【日本選手権】

| 種目    | 練習    | ①    | ②    | ③    | ④    | ⑤    | ⑥    | ⑦    | 以降         |
|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------------|
| 男子走高跳 | 任意の高さ | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 1m88 | 1m91 | 3cm ずつ上げる  |
| 女子走高跳 | 任意の高さ | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m58 | 1m61 | 3cm ずつ上げる  |
| 男子棒高跳 | 任意の高さ | 3m20 | 3m40 | 3m60 | 3m80 | 4m00 | 4m10 | 4m20 | 10cm ずつ上げる |

### 【U20 全国陸上】

| 種目    | 練習    | ①    | ②    | ③    | ④    | ⑤    | ⑥    | ⑦    | 以降         |
|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------------|
| 男子走高跳 | 任意の高さ | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 1m88 | 1m91 | 3cm ずつ上げる  |
| 女子走高跳 | 任意の高さ | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m58 | 1m61 | 3cm ずつ上げる  |
| 男子棒高跳 | 任意の高さ | 2m60 | 2m80 | 3m00 | 3m20 | 3m40 | 3m50 | 3m60 | 10cm ずつ上げる |

- (4) 日本選手権と U20 全国陸上十種のやり投の開始時刻は競技日程を基本とするが、棒高跳が終了した競技者でグループ編成し、時間差をつけて開始する場合がある。開始時刻は、各競技者の棒高跳終了時に連絡する。
- (5) 100m、100mH、110mH については、30 分前までに使用する走路（メイン・バック）を発表する。
- (6) 十種競技の最終種目 1500m は、9 種目の合計得点順にレーン内側から整列する。腰ナンバー標識も得点順に 1 からとする。
- (7) 七種競技の最終種目 800m の組分けとレーンについては、6 種目合計得点の高いグループを最終組とし、得点順に 1 レーンから割り当てる。腰ナンバー標識はレーンナンバーと同じ数字をつける。

## 8. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は棒高跳用ポールを除き、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 投てき用具については、公表された競技場備え付け用具リストにないものは、持ち込みを認める。持ち込み希望者は、当該種目の競技開始 60 分前までに 100m スタート側用器具庫前で検査を受けること。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとし、競技終了後に担当総務員がフィニッシュ側用器具庫内で返却する。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任を負わない。
- (3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを 2 個まで、サークルからの投てき種目では 1 個置くことができる。個人の所有物は使用できない。

## 9. 競技場への入退場について

招集所からの競技場への入場および競技終了後の退場は、競技役員の指示による。

## 10. 表彰について

- (1) 1 位～8 位の競技者の表彰は、正面スタンド前で行なう。競技終了後に係員が誘導する。
- (2) 1 位の競技者にはカップ、賞状とメダル、2 位、3 位の競技者には賞状とメダル、4 位～8 位までの競技者には賞状を授与する。
- (3) 各種目の 1 位の競技者には、各種目終了直後に、フィニッシュエリア付近に設置されるインタビューボード前で記念品の贈呈を行なう。

## 11. 更衣室及び選手控え所について

- (1) 競技者控室は、本競技場 1 階トレーニングルームに用意し、トレーナーAD を所持した者のみ活動を許可する。但し、雨天走路等でのコーチング、声援は行うことができないので注意すること（助力とみなす）。
- (2) 競技者控室および競技場 1 階への立ち入りは AD カードでコントロールする（トレーナーAD を着用していない者は立ち入りできない）。AD カードは、出場競技者 1 人に 2 枚を配付するが、3 名以上の出場者がいるチームでも、原則として最高 5 枚までとする。コーチング活動は助力とみなす。
- (3) 更衣室横のシャワー室は、混成競技係に申し出て使用すること。ただし、1 日目競技終了後の使用は禁止する。更衣後の荷物は各自で管理すること。
- (4) 貴重品は各自で保管すること。万一の事故があっても主催者は責任を負わない。また、ごみの後始末は各自で行うこと。

## 12. ドーピング・コントロールテストについて

### ●ドーピングコントロール

世界陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

### ●TUE 申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は「治療使用特例（TUE）」の申請を行わなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ (<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ (<http://www.playtruejapan.org/>) を確認すること。

### ●18 歳未満競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18 歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 本大会に参加する 18 歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は <http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf> からダウンロード出来る。
- ② 18 歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にて NFR（陸連医事代表）に提出すること。提出は 1 回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事を NFR に申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも検査は行われるが、検査後 7 日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

## 13. 練習会場と日程（大会要項のとおりである）

## 14. 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては違反箇所をテープ等で隠すこと。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。医務室は本競技場 1 階に設置する。
- (4) 届けられた遺失物については大会本部で保管する。保管期間は 9 月 27 日競技終了までとする。
- (5) 記録はその都度発表するが掲示はしない。大会ホームページに随時アップする。
- (6) 「記録証明書」を希望する競技者は、「T I C」に 500 円を添えて申し込むこと。
- (7) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出、展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」に基づく。

## 15. その他

- (1) プログラムに誤記がある場合には、第 1 日 9 時まで、「T I C」へ申し出ること。
- (2) ポールの輸送を希望する者は、各自で配送を事前手配したうえで「T I C」に申し出ること。